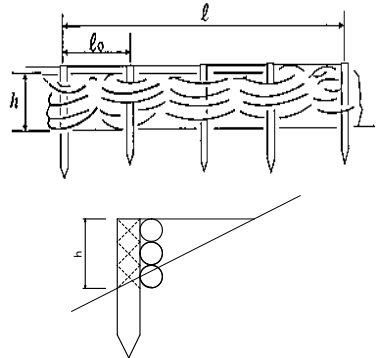
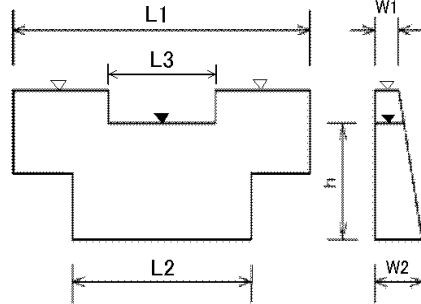
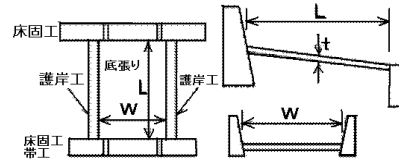


(別表-1)

森林土木工事出来形管理基準(案)

単位：mm

工 種	測 定 項 目		規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
柵 工	柵 高 h	木 製 (丸 太 材)	- 1 0 0	延長は全箇所。 施行延長40mにつき1箇所。延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。 杭間隔の規格値は、設計図書に範囲が指定されている場合はその範囲内。		測定値は、設計図等を使用して設計寸法と比較対照できるように成果表に整理する。ただし、山腹工については、成果図(第5節参考資料の記載例)をもって成果表に代えることができるものとする。
		木 製 (加 工 木 材)	- 5 0			
		そ の 他	- 3 0			
	杭 間 隔 l ₀		± 2 0 0			
	延 長 l	L < 2 0 m	- 1 0 0			
L ≥ 2 0 m		- 2 0 0				
木製治山ダム	基 準 高	天 端 ▽	± 1 0 0	図面の寸法表示箇所で測定。		
		放水路 ▼	± 3 0			
	高 さ h		± 1 0 0			
	厚 さ W		- 5 0			
	法 勾 配 i		± 0.5分			
	延 長	堤長等 L ₁ , L ₂	- 1 0 0			
放水路 L ₃		± 5 0				
木製流路工(底張)	幅 W	- 1 0 0	図面の寸法表示箇所で測定。			
	厚 さ t	- 5 0				
	延 長 L	- 1 0 0				

(別表-1)

森林土木工事出来形管理基準(案)

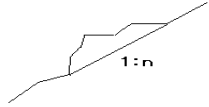
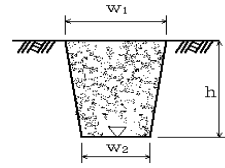

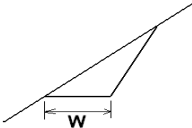
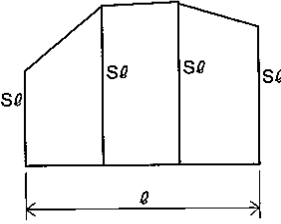
単位：mm

工 種	測 定 項 目		規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
木製土留工 木製護岸工(流路工護岸 含む) もたれ式土留工 もたれ式護岸(流路工護 岸含む)	基 準 高	▽	丸太材	±100	<p>延長は全箇所。 施行延長20mにつき1箇所。延長20m 以下のものは1施工箇所につき2箇 所。ただし、基準高は設計図書に指定 されている場合のみ。 図面の寸法表示箇所にて測定。</p>	測定値は、 設計図等を使用し て設計寸法と比較 対照できるように 成果表に整理す る。ただし、山腹 工については、成 果図(第5節参考 資料の記載例)を もって成果表に 代えることができ るものとする。	
		加工木材	±50				
	高 さ	h	丸太材	±100			
			加工木材	±50			
	幅(厚さ)	W1, W2		-50			
	流 路 幅	W3	丸太材	-100			
			加工木材	-50			
	法 勾 配	i		±0.5分			
杭 間 隔			±200				
延 長	L		-100				
鋼製枠土留工	基 準 高	▽	±50	図面の寸法表示箇所にて測定。			
	高 さ	h	$h < 3\text{m}$				-50
			$h \geq 3\text{m}$				-100
	幅(厚さ)	W					±50
	法 勾 配	i					±0.2分
延 長	L		±100				

(別表-1)

森林土木工事出来形管理基準(案)

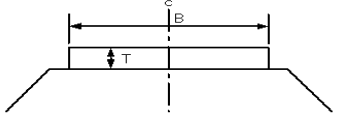
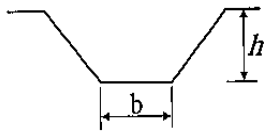
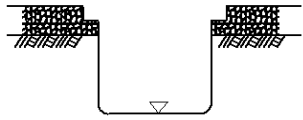
単位: mm

工種	測定項目		規格値	測定基準	測定箇所	摘要
のり切工	法勾配	n	±1分	施行延長40mにつき1箇所。延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。ただし、設計図書に指定されている場合のみ。		測定値は、設計図等を使用して設計寸法と比較対照できるよう成果表に整理する。ただし、山腹工については、成果図(第5節参考資料の記載例)をもって成果表に代えることができるものとする。
礫暗きょ工	高さ	h	±50	延長は全箇所。施行延長40mにつき1箇所。延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
	幅	W	±50			
	延長	L	-100			
山腹水路工 (張芝、土のう)	弧長	ℓ	-30	延長は全箇所。施行延長40mにつき1箇所。延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
	延長	L	-200			
階段切付工	幅	W	-30	延長は全箇所。施行延長100mにつき1箇所。延長100m以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
	延長	L	設計値以上			
筋工	柵工に準ずる。		同左	施工延長100mにつき1箇所。延長100m以下のものは1施工箇所につき2箇所。杭間隔の規格値は、設計図書に範囲が指定されている場合はその範囲内。	柵工に準ずる。	
伏工	切土法長 Sℓ	Sℓ < 5 m	-200	延長は1施工箇所毎。施工延長40mにつき1箇所。延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。面積で管理する場合の規格値は、設計値以上。		
		Sℓ ≥ 5 m	法長の-4%			
	盛土法長 Sℓ	Sℓ < 5 m	-100			
		Sℓ ≥ 5 m	法長の-2%			
	延長 ℓ		-200			

(別表-1)

森林土木工事出来形管理基準(案)

単位：mm

工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
路面工(コンクリート) 路盤工(敷砂利)	幅 B	-50	施工延長40mにつき1箇所。同一幅及び厚さの区間が40m以下の場合は2箇所。		測定値は、設計図等を使用して設計寸法と比較対照できるように成果表に整理する。
	厚 さ T	厚さの-10%			
側溝工(素堀)	高 さ h	-50	全測点		
	幅 b	-50			
	延 長 L	-200			
横断溝(二次製品) 開きよ(二次製品)	基 準 高 ▽	±30	延長は1施工箇所毎。 施工延長40mにつき1箇所。延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。ただし、基準高は設計図書に指定されている場合のみ。 製品使用の場合は、製品寸法は、規格証明書等による。		
	延 長 L	-200			